

神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL: 045-663-4061 FAX: 045-663-4062
メール: nenkinanagawa@nifty.com

12月5日現勢 組合員 10,511人
機関紙 6,462部
新年金署名 9,982筆



神奈川県版 第294号 2012年12月15日

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
TEL. 03 (5978) 2751 FAX. 03 (5978) 2777
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円
昭和57年6月30日第三種郵便物認可



国民諸要求実現決起集会(日比谷野音)

際限なく続く 年金引き下げを中止に!

国会最終日、解散風が吹き荒れるドサクサに年金2・5%切り下げが決まりました。13年度1%、14年度1%、15年度0・5%、あとはマクロスライドで0・9%づつ引き下げていくという中味です。一方、70歳〜77歳までの医療費窓口負担は1割から2割となるなど医療や介護保険料は上がりっぱなしです。さらに消費税が14年度に8%、

15年度に10%となれば、生活できない高齢者が増え続けます。私たちは15日、日比谷野外音楽堂に3000人が結集し、年金中止のための決意を固めました。個人請願署名も5000枚近く集まり、まさに怒りの行進となりました。年金者組合として年金2・5%引き下げ中止を求め、請願署名を直ちに集めていきたいと思います。

厚生労働委員会傍聴記
11月14日、首都圏の年金者組合は10時から傍聴



「年金引き下げを中止に」の声を もっともっと大きく!

秋の仲間づくり月間では、12月1日現在、寒川青葉、西、茅ヶ崎、瀬谷座間、厚木、保土ヶ谷の8支部が目標達成。1万511人を超え史上最高の峰に到達しました。月間最終日の18日まで全支部が目標達成に向けて奮闘中です。茅ヶ崎、青葉、寒川など多くの支部でバス旅行やサークルが力を発揮しています。瀬谷や旭支部等では団地や駅頭でのビラ等の宣伝行動で、麻生支部等では役員を中心とした統一行動で増えています。

いま、年金に頼らざるを得ない高齢者にとって年金の連続引き下げ、社会保険料増、重い税金に怒りと「なんとかしてほしい」との声が渦巻いています。年金者組合の出番です。年金引き下げを許さない運動と組織拡大

卓球で一気に超過達成
青葉支部
現在の緑、都筑、青葉支部は以前、横浜北支部となっていました。区ごとに支部を作ることになり独立しました。発足当時、我が支部は50人そこそこで亡くなる人が出る等で減り気味でした。サークル活動は卓球サークル、3支部合同のウォーキングサークル、同じく囲碁サークルがあります。練習日は月1回で、5、6人しか集まりません。会場費も支部が分かれる時の分配金を取り崩す状態です。ある日、組合員でない女性に加わり、それ以後その女性の関係で数名が参加するようになり

新組合員が新たな仲間を
港北支部
港北支部では仲間づくり月間の取り組みを10月23日の支部総会迄を一節として、目標を425人と決め取り組みましたが424人と1人届かず、3日後に425人を達成。月間の残りまでを2節とし432人をやり切ることを決めました。11月26日現在431人とあと1人と迫っています。9月は6人が加入、9人が退会、10月は12人が加入、2人が退会。11月は3人が加入、退会ゼロですがペー

超過達成し
次のステップへ
西支部
11月18日の支部総会を前に、秋の月間目標であり、年間の目標でもある「80人の支部づくり」を超過達成しました。9月末には78人を数えていたので、あと2人をむかえればOKと、オツトリと構えていました。ところが「10月いっぱい辞めたい」との申し出があり、支部執行委員会でも目標が具体化されません、不安がよぎりました。そこで目標は「あと2人3人で」達成と手の届く範囲にあることを強調し力を貸して欲しいと訴えました。11月5日のバス旅行の車中でも「あと2人3人で」を強調、加入を呼び掛けました。結果3人の方が加入して

団地ビラ入れて
4人加入
瀬谷支部
ここ何回かは、仲間づくり月間で苦戦がつづいていました。今年も旭・瀬谷支部から独立して10年目、この節目の年になんとしても増勢を勝ち取ろうと役員会への提起、幹事会で討議を重ね、取り組みを開始。最初はなかなか進みませんでした。10月21日開催の第10回定期総会で、「1人拡大して出席しました」という発言があり、それをきっかけに新しく副委員長になった役員が2人、共同募所で2人、バスの中で

志高く、行動豊かに
茅ヶ崎支部
我が茅ヶ崎支部の「仲間ふやし」の飛躍はこれまでを脱皮し、組織的に検討し、役員は元より組合員の多くの仲間のちからが大きく働いたものと思います。今、情勢は高齢者に向け、「仲間ふやし」の追い風となつて強烈に吹いています。仲間を求め、より楽しく充実した日常生活を求むる巷の声に誠実、丁寧に向き合い、手だてを尽くして語り合い、情報を共有し合う場の設定こそ大切と考えます。生活の糧を「年金」に頼らざるを得ない、貧困劣悪な社会保障政策に怒り、「何とかしたい」思いに希望の灯を点し合う行動が今、必要です。相手に届く「ことば」と「血の通った温かい行為」の実践者として共に生き合ひたいと思います。



輝こう展で仲間ふやし



景德院山門で

理想は高くても、目標は背伸びしたら届く範囲でと勝手に決め込んでいます。総会では来年にむけ「90人の支部づくり」を確認し合いました。高齢者比1%からはまだまだ低い目標ですが1日も早く90を突破し、一歩でも二歩でも三桁に近づいていきたいと思います。

（横浜西支部 小泉欣一）
（茅ヶ崎支部 竹内一男）

横浜歴史探索

初めてのものがいっぱい!

11月17日、当日加入した方を迎え、みんなにはずみがついて、風雨厳しくなるという天気予報のなか、「横浜初めて物語 史跡めぐり」を強行いたしました。

港の見える丘公園は戦時中は立入禁止だったとか、腕白坊主だった頃の様子を聞きながら、港を眺めバラの花に癒され江戸時代の薩英戦争の時、軍隊が駐屯したフランス山へむかいました。

大使館跡、井戸水をくみ上げた風車は今も再現されクルクル回っていました。米軍ジェット機墜

ひとりぼっちを出さない 高齢期運動を

第8回 輝け高齢期inひらつかに430人



リズム体操を披露する厚木支部

第8回輝け高齢期かながわのつどいは平塚中央公民館で、「地域からの連帯でひとりぼっちの高齢者をなくそう」をテーマに11月29日、全県から430人が参加し、大成



母子像の前で

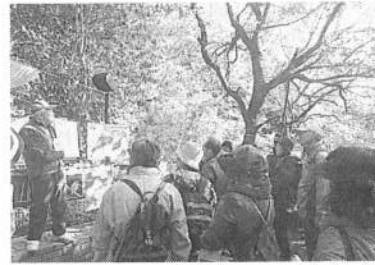
落の犠牲者林和枝さん母子像をなで、マリントワーを眺めて街に下ります。クリーニング店、水り店、ボーリング、公衆トイレなど、横浜には初めてのものがたくさんある事に關心しながら、山下公園の黄色く色づいた銀杏並木を横目で見ながら中華街で、おいしい昼食をやすい値段で頂き、つこり散会になりました。雨は昼ごろまで小降りでした。

カワセミにあえた!

源兵衛川から 柿田川散策

第10回横浜みなみ歴史散策の会は、チョット遠出して、総勢20名で「各駅停車で行く源兵衛川清流と柿田川湧水・三島大社の旅」に、11月21日行ってきました。JR東海となる三島には、直行電車はなく、戸塚から熱海で乗換え、国鉄でない不便さを愚痴りながら、秋晴れの白雪積もる富士山に歓声をあげながら、童心に返った一時間半の各駅停車の旅。源兵衛川は、三島市内のど真中とは信じられない、木や石の川の道に沿って、澄んだ水と梅花藻、魚、カモが迎

えてくれる。「一服処」で思いがけず、お茶とガイドの接待、美味しかった! さらに、会えました! カワセミです。源兵衛から柿田川へ。富士の白雪溶けて流れて、毎日一〇万トンに驚き、製紙工場を立ち退かせ、湧水を守った住民のガイドにうんうん! 三嶋大社で、福太郎餅を頬張り、幸運に感謝し、帰りは心



ガイドの説明にうんうん

高齢者女性 生活実態調査II

まどめが出来ました

皆様のご協力により、今年一月から取り組み始めた高齢女性生活実態調査のまとめができました。全国一の女性組合員である神奈川県本部女性

午後からは、佐伯年金者組合特別執行委員から特別報告として、「神奈川臨調」・県政の変質を主催者の要求運動で押し返そうと題して、県有施設・機関の原則廃止問題、県営住宅の見直しなど、知事が「緊急財政対策」としてすすめる内容が詳しく説明されました。地元各団体からの活動の報告と文化行事最後は松平さんのトランペット演奏と、全員合唱で盛り上がりしました。

功をおさめました。岡村共栄実行委員長の主催者あいさつ、来賓には、日本高齢者大会中央実行委員長の鐘ヶ江事務局長、平塚市高齢福祉課高橋部長が激励にかけつけ、茅ヶ崎市長、秦野市長から祝電をいただきました。記念講演は、「ひとりぼっちを出さない高齢期運動の課題」と題して、日本高齢期運動顧問の篠崎次男さんが、高齢者の孤立化の多様な要因を具体的事例にそって講演、あすからの実践活動に踏み出す具体的な活動の提案がありました。

この女性の気持ち、実態を要求として取り上げ、組合として学習し、行政にも訴えていきたいと考えています。同時に、他団体との協力関係をつくり要求解決のために前進した取り組みをしたいと思えます。(左写真参照)



どんなことでもご相談ください 毎月第2火曜日 午後1時から4時まで (1月は8日です) 電話 045-663-4061 =県本部に「年金相談室」開設= 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル2階

(お詫び) 前回のお知らせの電話番号は違っていました。訂正をお願いします

政府は、国会解散直前に、先の国会で継続審議となっていた「年金の特例水準2・5%の解消法案」を民・自・公三党の談合で、不十分な審議のもとで強引に国会で成立させた。年金総額は2013年10月から1%、14年4月1%、15年4月に0・5%と三段階で特例水準を解消するとしている。特例水準は、1999年から2001年の物価下落時に、当時の経済状況から判断して年金額を据え置いたもので、これを本来の水準に戻すのだと政府は説明しているが、今日の経済状況は当時の状況よりも悪くなっており、高齢者の暮らしも苦しくなっている。その上、今回の特例水準解消が実施されれば、3年間で国民年金満額の人で年額2万円以上、平均

2014年4月から、15年10月にかけて、消費税が10%に引き上げられることも通常国会で決められている。このような年金引き下げと消費税増税を許せば高齢者の暮らしはますます厳しいものとなり、わが国経済にも悪影響をもたらすことは必定だ。年金者組合が先頭になって、「年金引き下げ反対、消費税増税やめる」の闘いをつよめよう。

シリーズ④ 年金あれこれ 許さない 闘いをつよめよう!!

神奈川年金者文芸 (俳句) 平塚支部 坪井 稔恭 雨あとの日射しを返すななかもど (川柳) 旭支部 毛利やすひこ ニセだらけ医師に建築士政治家も 川崎麻生支部 阿部 和子 弓を描きひこうき雲に茜差し 旭支部 本間鈍根花 憲法危機都政流出し三極へ